

**(社)日本リモートセンシング学会 第74回(令和5年度春季)学術講演会  
発表プログラム(一般発表)**

<b>陸域1 (A会場, 6月2日(金) 13:30-14:45)</b>		
A 1	GNSSと多時期のDInSAR画像の比較による積雪下の地すべり観測可能性の検討	○宇佐見 星弥・石丸 聡・野呂田 晋(道総研)・田殿 武雄(JAXA)・高見 雅三・藤原 寛(道総研)
A 2	2016年北カンタベリー地震におけるマールボロ地方の地殻変動の抽出	吉永 誓也・島田 政信(東京電機大学)
A 3	衛星データを利用した日本全国の太陽光発電施設の土地改変履歴・災害リスクの評価	○畠田 将貴・竹内 渉(東京大学 生産技術研究所)
A 4	SARを用いた2019年台風19号に伴う洪水域の抽出	木戸 洋斗・島田 政信(東京電機大学)
A 5	Sentinel-1データを用いた機械学習による2019年台風19号の浸水被害領域抽出	○五十嵐 貴大・若林 裕之(日大)
<b>陸域2 (A会場, 6月2日(金) 15:15-16:30)</b>		
A 6	航空機LiDARと航空写真を用いた富士北麓におけるLAD分布の推定とその評価	○福田 陸(千葉大)・野中 崇志(日本大)・小林 秀樹(海洋研究開発機構)・高橋 深(国立環境研究所)・朝香 智仁・杉村 俊郎・岩下 圭之(日本大学)
A 7	Performance evaluation of the Neural Logistic Fuzzy Ensemble Model for Land Use/Land Cover Change Prediction in Tsukuba, Japan	Mohammadreza Safabakhsh pachehenari(Ibaraki University Graduate School Doctoral Program)・Hideyuki Tonooka(Professor at Ibaraki Univ.)
A 8	レーザー3次元データを用いた森林内空隙解析	加藤 顕・青柳寛太郎(千葉大学 園芸学研究院)・峠 嘉哉(京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター)
A 9	Sentinel-1 SARデータによる水稻生育モニタリング・穂の水分量の推定	○小林 祥子(玉川大学)・井出飛悠人(シェアグリ)
A 10	Accurate Forest Change Detection using Google Earth Engine for FAMOST Forest Monitoring System	○C. Marques(Chiba Univ.)・V. T. Nguyen(JAFITA)・A. Kato(Chiba Univ.)・M. Kohri, Y. Hayashi, N. Numakunai, M. Kanamori(JAFITA)
<b>システム・観測機器・大気 (B会場, 6月2日(金) 15:15-16:30)</b>		
B 1	能動地球観測センサ性能の統一的解釈	川島高弘・岩崎晃(東京大学)・木村俊義・水谷忠均・植松明久・境澤大亮(JAXA)
B 2	パッシブレーダによる海洋表面流速計測の実証試験に向けた検討	灘井 章嗣(NICT)
B 3	多軸差分吸収分光法(MAX-DOAS法)による大気下層水蒸気濃度の連続観測	○入江 仁士・亀井 敬介・溝渕 隼也(千葉大)
<b>実利用 (B会場, 6月2日(金) 13:30-14:45)</b>		
U 1	多時期航空レーザ計測データを用いた2018年胆振東部地震による厚真町の被害把握と復興モニタリング	○山崎 文雄(防災科学技術研究所)・劉 ウェン(千葉大学)
U 2	異なる観測条件・異なるSAR衛星画像の強度差分解析による土砂災害調査の試行	○佐藤 匠・山下 久美子・本田 謙一・田口 智大(国際航業)・瀧口 茂隆(国総研)・中谷 洋明(砂防・地すべり技術センター)
U 3	ALOS-2画像を用いた2023年トルコ・シリア地震による都市域の被害把握	○劉 ウェン(千葉大学)・山崎 文雄(国立研究開発法人 防災科学技術研究所)／(株)大崎総合研究所)
U 4	マルチスペクトルドローンと光学衛星データのクロスキャリブレーション手法の検討	○江口 毅・市川 ドルジュ・和田里 花・長井 正彦(山口大学)
U 5	ALOS-2を用いた多次元時系列解析による大規模地すべりのモニタリング	○本田 謙一・田口 智大・川島 祐人・佐藤 匠(国際航業)
<b>ポスターセッション (P会場, 6月2日(金) ポスター展示10:00-12:00 (P1)-(P28) コアタイム: 偶数番号 10:00-11:00/奇数番号 11:00-12:00)</b>		
P 1	ドローンリモートセンシングを活用した遺伝育種学研究	○坂本利弘(農研機構農業環境研究部門)・小川大輔(農研機構作物研究部門)・米丸 淳一(農研機構農業情報研究センター)・常松浩史・野々上慈徳・官野徳子(農研機構作物研究部門)・谷口昇志(農研機構農業情報研究センター)・中村春貴・福田あかり(農研機構作物研究部門)
P 2	クロロフィルa蛍光画像を用いた醸造用ブドウのべと病の早期検出の可能性の検討	○佐藤 優花(福島大院)・牧 雅康(福島大)

P 3	ドローンリモートセンシングによる施肥量の異なる乾田直播水稲圃場の観測	○横山亮平・米澤千夏(東北大)・松波寿典(農研機構東北農業研究センター)・高村光輝・天谷香織・市川健・佐藤慶治(復建技術コンサルタント)・齋藤正頼・鈴木幸雄(福島県農業総合センター)
P 4	Sentinel-2データを用いた水稲栽培必要水量の把握	森貴之・本郷千春(千葉大)・S.Gunardi(Regional Office of Food Crops Service West Java Province)
P 5	種ばれいしよ異常株検出支援システム実用化に向けた計画	○大石 優・大木 健広・中山 尊登・鈴木 智・津田 昌吾・谷口 浩彰・古谷 尚紀・小川 智子・小林 恵・田島 和幸・三澤 孝(農研機構)・前塚研二(十勝農協連)・山本 一哉(シブヤ精機)・村上 則幸(農研機構)
P 6	多年度のリモートセンシングデータを用いたイネいもち病感染状況の把握	古谷野 健・本郷 千春(千葉大)・本間 香貴(東北大学)・牧 雅康(福島大)・宮野 法近(宮城県古川農業試験場)
P 7	Sentinel-2/MSIによる都内生産緑地の監視について	○野上 裕都(日大)・朝香 智仁・杉村 俊郎(日大)
P 8	Sentinel-2/MSIデータを用いたインド・パンジャブ州における野焼き跡地抽出のための指標	六倉理乃・村松加奈子(奈良女大)
P 9	Agricultural Burn Area Segmentation in North India using Convolutional Neural Networks and Transfer Learning: A case study over Punjab, North India	Anamika Anand, R. Imasu(The University of Tokyo)
P 10	SENTINEL-2A衛星画像を用いた植生遷移の簡易な把握手法の検討	中川宏治(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
P 11	Drone-lidar based workflow for generation of leaf-on digital surface model from leaf-off season	○Myagmardulam Bilguunmaa(Toyama Prefectural University)・Kazuyoshi Takahashi, Takeshi Nakamura(Nagaoka University of Technology)
P 12	空中写真のセマンティックセグメンテーションによる竹林の抽出	○松岡 真如・深見 匠矢(三重大)・近田 典章(高知県立森林技術センター)
P 13	Mapping coastal mangroves of Bangladesh using machine learning and mangrove vegetation index (MVI)	Mohammad Shamim Hasan Mandal(JIRCAS)・Abdullah-Al-Nomaan Khan(Khulna Univ.)・Rempei Suwa(JIRCAS)・Md. Kamruzzaman(Khulna Univ.)
P 14	複数時期のUAV観測画像による機械学習を用いた海浜植物自動分類と植生図生成	○伊藤 征嗣(広島工業大学)・古米 裕聖(元広島工業大学)・小西智久・小黒剛成(広島工業大学)
P 15	衛星画像における影の影響を考慮した非線形放射伝達モデルによる植被率推定	○徳永 迅(広島工業大学大学院工学系研究科環境学専攻)・伊藤 征嗣(広島工業大学環境学部地球環境学科)
P 16	時系列Sentinel-2とBFAST法を用いた三重県における土地被覆変化の検出	○大橋 弘暉・松岡 真如(三重大)
P 17	Himawari/AHIを用いたボルネオ島における火災検出	○佐藤 諄・藤後 結香・松岡 真如(三重大学)
P 18	ALOS-2による自動浸水域抽出アルゴリズムの改良と最近の事例	大木 真人・高倉 有希・川北 史朗・田殿 武雄(宇宙航空研究開発機構)
P 19	港湾における超小型衛星コンステレーション撮像頻度の評価	○村田 裕樹・井村 直人(東大先端研)・西成 活裕(東大院)
P 20	ALOS-2を用いた北海道胆振東部地震における建物の被害状況の評価	○木村 舜・野中 崇志・朝香 智仁・杉村 俊郎・岩下 圭之(日大)
P 21	条件付き敵対的生成ネットワークを用いたDSMからのDTM自動生成	○押尾 晴樹・八嶋恵一郎・松岡昌志(東工大)
P 22	異なる解像度及び視点の画像の位置合わせ	○中川 果帆・岩崎 晃(東大)
P 23	ALOS-2アーカイブデータを用いた事業化実証	○栃木 佑太・祖父江 真一(JAXA)・近藤 慶一(福井県 産業技術課)・辻野 和彦(福井高専)
P 24	衛星からの乾燥度指数SbAIのGCOM-C/SGLIへの実装	○森山 雅雄(長崎大)・木村 玲二(鳥取大)
P 25	Initial validation of precipitation and water quality in coastal areas of Myanmar using GSMAP and GCOM-C data	○Y. Sakuno・K. Koike(Hiroshima Univ.)・M. Toyokawa(JIRCAS)
P 26	養殖筏観測におけるALOS-2 PALSAR-2の照射方向の方位角依存性の評価	齋 博云(東大)・米澤千夏(東北大)・村田裕樹(東大)
P 27	廉価なGNSS/INSを用いた道路積雪深計測用MMSの開発	○高橋 一義・中村 健(長岡技術科学大学)・千田 良道(中日本航空株式会社)
P 28	熱赤外バンドより得られた輝度温度の時系列パターン分類による地表面熱特性の推定	縫村崇行(東京電機大学)・佐藤洋太(海洋研究開発機構)・永井裕人(立正大学)・紺屋恵子(海洋研究開発機構)